

(4) 授業実践

家庭科の学習において「自立」と「共生」は大きなテーマとなります。これからは、個々の生活の自立と共に、家族そして社会の課題を自己との関係から考えることが大切になります。高等学校家庭科では、各ライフステージに必要な福祉や社会的支援を仕組みとしての理解にとどめず、地域で生活する社会の一員としての自覚をもち、生活場面での具体的な実践や課題の解決につなげるための能力を育てていくことが必要だと思います。

しかし、これまでの授業では、地域の生活課題について、社会の一員として自分に何ができるかを考えさせることは難しく、思考が深まらない傾向にありました。そこで、協働的な学びを引き出す「知識構成型ジグソー法」を取り入れ、身近な地域の課題について考えることで、自分や家族と地域社会の関係を見直し、課題解決に向けての考えを導くことができるのではないかと考え、授業実践に取り組みました。

ア 実践事例

1 単元名 家庭基礎「共生社会と福祉」 学習指導要領 内容(1)ーエ

2 単元について

平成 21 年に改訂された学習指導要領において、共通教科「家庭」3科目の中に「共生社会」の項目が新たに追加されました。これは、少子高齢化、グローバル化など社会の急激な変化に対応するために、これまでの家族を中心とした生活だけではなく、広く地域や社会に視野を広げ、年齢や障害の有無に関係なく、新たな人々との関係性を築いていく必要性が求められているためと考えられます。様々なニーズをもった個人が安心して生活していくためには、公的な制度やサービスだけではなく、地域で支え合う仕組みが必要であり、地域コミュニティの存在は重要性を増していくものと考えます。しかし、少子高齢化の進行で、地域コミュニティ自体が縮小している状況にあり、加えて、地域の課題は、多様化・高度化しているため、各個人が主体的に課題に向き合うとともに、様々な立場の人との協働によって解決を図ることが大切です。

本単元は、生徒自身が家庭や地域、社会の一員として共に支え合って生活していることを理解させ、様々な課題に対してどのような解決方法があるか、自分は何ができるかを考えさせることができる内容です。本単元を通して、高等学校家庭科が重視している「社会との関わりの中で営まれる家庭生活や地域の生活への関心を高め、生涯を見通して生活を創造する主体としての視点」⁽⁵⁾や共生社会形成の視点を養うことが期待できます。

3 単元目標と評価規準

| 単元目標 | | | |
|--|---------------------------------|---|---|
| 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解させ、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考えさせるとともに、社会の一員として地域や社会の様々な活動に参画していく態度を育む。 | | | |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 |
| 共生社会の重要性を知り、家庭や地域及び社会の一員として主体的に行動しようとしている。 | 共生社会を実現するために、社会の一員として何ができるか考える。 | 居住する地域のコミュニティ活動などについて、情報を収集・整理することができる。 | 共生社会の重要性を知り、ノーマライゼーションの理念、社会保障制度や社会的支援について理解している。 |

4 指導の視点

「知識構成型ジグソー法」を取り入れることで、生徒一人ひとりの発言を促すとともに、協働して考えさせていく中で、生徒が地域の課題を主体的に捉え、課題の解決に向けて、意欲的に地域の活動に参画していこうとする態度を培うことができると考えました。また、学び合いや思考の過程が可視化できるよう ICT 機器を活用しました。

5 指導と評価の計画 (全2時間)

- ① 家族・家庭と社会的支援 (1時間)
- ② 共生とコミュニティ (1時間)

| | 【ねらい】◆学習活動 | 評価の観点 | | | | 評価規準・評価方法 |
|----------|--|-------|---|---|---|---|
| | | 関 | 思 | 技 | 知 | |
| ① 1時間 | <p>家族・家庭と社会的支援</p> <p>【ねらい】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解し、共に支え合って生活することの重要性について考える。</p> <p>◆共に支え合って生きることの重要性を認識し、ノーマライゼーションの理念、社会保障制度や社会的支援について理解する。</p> <p>◆人の一生におけるリスクとその対策について考え、社会保障制度や社会的支援が必要であることに気付く。</p> | | | ● | | <p>・ノーマライゼーションの理念、社会保障制度や社会的支援について理解している。(ワークシート)(ペーパーテスト)</p> <p>・地域には多様なニーズがあることを知るとともに、共に支え合って生活することの重要性について考えようとしている。(観察)(ワークシート)</p> |
| ② 1時間 | <p>共生とコミュニティ</p> <p>【ねらい】 身近な地域の課題に関する情報を収集・整理することができる。また、共生社会の実現に向けて、社会の一員として何ができるか考え、地域や社会の様々な活動に参画しようという意識を高める。</p> <p>◆身近な地域の課題に関する情報を収集・整理する。</p> <p>◆身近な地域の課題についての解決策を考え、社会の一員として何ができるか、自分の意見をまとめる。</p> | | | ● | | <p>・身近な地域の課題に関する情報を収集・整理することができる。(ワークシート)</p> <p>・身近な地域の課題の解決に向けて多面的に考察し、共生社会を実現するために、社会の一員として何ができるか考え、まとめている。(ワークシート)</p> |

6 授業展開


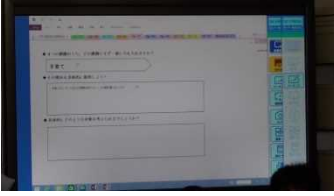
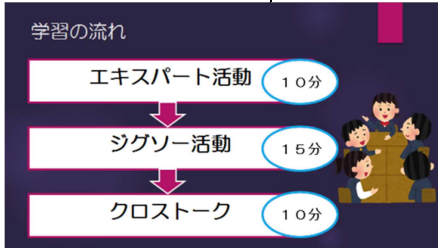
(第1時)

| 本時の目標 | | | | |
|---|---|---|------|------------------------------------|
| 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解し、共に支え合って生きることの重要性について考える。 | | | | |
| 本時の評価規準 | | | | |
| ○ノーマライゼーションの理念、社会保障制度や社会的支援について理解する。【知識・理解】 | | | | |
| ○地域には多様なニーズがあることを知るとともに、共に支え合って生活することの重要性について考える。【関心・意欲・態度】 | | | | |
| 段階 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準 | 教材等 |
| 導入 10分 | <p>1 社会的支援について考える。</p> <p>一人暮らしをしているTさんは、事故に遭い1か月間車いす生活を送ることになった。どのような問題が生じ、どのような援助を望むだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入する。 ・発表する。 <p>2 本時の学習課題を知る。</p> <p>課題 生活を送るうえで、困ったことが起きたときには、どうすればよいのだろう。</p> | <p>○生徒から出た意見を次のA～Cの3つに整理していった。</p> <p>A 自分や家族でできること。</p> <p>B 知り合いや近隣の人に援助してもらえること。</p> <p>C 国などの制度で援助してもらえること。</p> | | <p>電子黒板 ワークシート</p> <p>電子黒板</p> |

| | | | | |
|------------|---|--|---|--|
| 展開 35分 | <p>3 社会福祉や社会保障制度が何のためにあるかを考える。</p> <p>なぜ、医療保険制度などの社会保障制度があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の一生を通じて起きる可能性があるリスクを挙げる。 ・リスクと社会保障制度との関わりについて、A～Cにまとめながら考える。 ・社会福祉と社会福祉制度が必要とされる理由を考える。 | <p>○導入のA～Cに分類させると同時に、ライフサイクルに照らし合わせて考えさせることで、人の一生が様々な社会的支援に支えられていることに気付かせた。</p> <p>○社会保障制度が生まれた背景に触れながら、「福祉」の本来の意味や生存権と共に、社会福祉と社会福祉制度の必要性を確認させた。</p> | <p>・社会保障制度の必要性とその仕組みについて理解する。 【知識・理解】</p> | <p>ワークシート 電子黒板</p> <p>ワークシート 電子黒板</p> <p>ワークシート 電子黒板</p> |
| | <p>4 今後、生活課題を解決していくためには、どのような社会が必要かを考える。</p> <p>自分自身や家族、社会保障制度でも対応できないときはどうすればよいのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の家族や身近な人、地域の人で、課題を抱えている人はいないかを考える。 ・共に支え合うことの重要性を確認する。 ・共生社会の実現に向けて、どのような考え方や社会環境が必要かを考える。 | <p>○導入のBに注目させ、共に支え合って生きることが重要であることに気付かせた。</p> <p>○共生社会の基盤になるのが、ノーマライゼーションの考え方であることを理解させた。</p> | <p>・地域には多様なニーズがあることを知るとともに、共に支え合って生活することの重要性について考える。 【関心・意欲・態度】</p> <p>・ノーマライゼーションの考え方について理解する。 【知識・理解】</p> | <p>ワークシート 電子黒板</p> <p>ワークシート 電子黒板</p> |
| まとめ 10分 | <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>6 次時の学習内容を知る。</p> | <p>○制度は整っているが、身近な地域にも解決しなければならぬ課題がたくさんあり、これまで学習した男女や子供、高齢者、障害者の4つに分類できることに気付かせ、次時につなげた。</p> <p>○身近な地域の課題について学習することを知らせた。</p> | | <p>電子黒板</p> |

(第2時)

| |
|---|
| <p>本時の目標</p> <p>身近な地域の課題に関する情報を収集・整理することができる。また、共生社会の実現に向けて、社会の一員として何ができるか考え、地域や社会の様々な活動に参画しようという意識を高める。</p> |
| <p>本時の評価規準</p> <p>○身近な地域の課題について情報を収集・整理し、課題の解決に向けて多面的に考察できる。 【技能】【思考・判断・表現】</p> <p>○共生社会の実現に向けて、社会の一員として何ができるか考え、まとめることができる。【思考・判断・表現】</p> |

| 段階 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準 | 教材等 |
|-----------|---|---|--|--|
| 導入 10分 | <p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。 ・グループで協力して4つの分野の課題解決について考えることを確認する。 ・知識構成型ジグソー法の学習方法を知る。</p> <p>課題 あなただったら、「子育て」「高齢者」「障害者」「男女共同参画」の4つの課題のうち、どの課題にまず一番に力を入れるべきだと思いますか？また、その理由を説明してください。</p> | <p>○前時で4つに分類した生活課題を確認した。</p> <p>○身近な地域にも4つの分野に関する課題があるかどうかを問い掛けた。</p> <p>○佐賀県の4つの課題を示し、一人で調べると時間がかかるため、各分野の担当者を決め、知識構成型ジグソー法で解決方法を考えることを説明した。</p> <p>○知識構成型ジグソー法の学習方法を説明した。</p> | | <p>電子黒板</p> <p>ワークシート 電子黒板</p> |
| 展開 35分 | <p>【知識構成型ジグソー法】</p> <p>3 一人で課題に対する答えを考える。</p> <p>4 エキスパート活動を行う。</p> <p>エキスパート資料 A 子育てに関する課題 B 高齢者に関する課題 C 障害者に関する課題 D 男女共同参画に関する課題</p> <p>5 ジグソー活動を行う。 ・各エキスパートでまとめた内容をそれぞれグループのメンバーに伝える。 ・課題に対する話し合いをする。</p>  <p>6 クロストークを行う。</p>  | <p>○最初に自分の現段階での考えをまとめさせた。</p> <p>○エキスパート資料については、自分の興味がある分野の資料を選択させた。</p> <p>○エキスパート活動で得た情報が課題解決の重要な部品になることを知らせた。</p> <p>○グループ内での役割を決めさせた。 ・司会進行、記録、発表</p> <p>○OneNoteを使って、エキスパート活動で得た情報を各自説明させた。</p> <p>○それぞれの情報を基に、課題について話し合いをさせた。</p> <p>○グループの活動状況を把握し、話し合いが進んでいないグループには助言した。</p> <p>○電子黒板を使って、発表させた。 ・他のグループの発表で、参考になるところをワークシートに記入させた。</p> | <p>・課題に関する資料を読み取り、整理している。 【技能】</p> <p>学習の流れ</p>  <p>・身近な地域の課題に対する解決策について、それぞれの情報を組み合わせながら、多面的に考察している。 ※思考・判断・表現を評価する際の補助として見た。</p> | <p>ワークシート</p> <p>エキスパート活動用ワークシート・資料 電子黒板</p> <p>ワークシート 学習用 PC 電子黒板</p> <p>電子黒板 学習用 PC ワークシート</p> |
| まとめ 5分 | <p>7 課題に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>8 本時の学習内容を振り返る。</p> | <p>・本時で学習した内容を踏まえて、再度課題に対する考えをまとめさせた。</p> <p>・社会の一員として、地域の様々な活動に主体的に関わろうとする態度が必要であることを知らせた。</p> | <p>・共生社会を実現するために、社会の一員として何ができるか考え、まとめている。 【思考・判断・表現】</p> | <p>ワークシート</p> |

イ ICT活用の実際

| |
|---|
| 電子黒板 |
| 課題を全員に把握させる |
| 導入時の課題の提示に使用しました。ワークシートにも課題を示していましたが、プレゼンテーションソフトで、要約した課題のスライドを作成し提示しました。 |
| 「知識構成型ジグソー法」の流れを知り、学習内容を把握させる |
| 授業展開時の流れや時間配分、エキスパート活動とジグソー活動における注意点を示すために使用しました。なお、先に提示したプレゼンテーションソフトのスライドは、次に進むと確認できないため、課題の提示やそれぞれの活動時の役割等については、黒板を併用しました。 |
| クロストークで意見を共有する |
| ジグソー活動において、各グループでまとめた意見を投影し、クラス全体で共有しました。生徒各自の学習用PCにも投影可能ですが、全員を注目させるために電子黒板のみに投影しました。 |
| 学習用PC |
| エキスパート活動において情報を収集し分析させる |
| 今回は時間が限られていたため、情報収集は教師で行いました。授業時間に余裕がある場合は、情報の収集においても使用すると活用の方が広がると思います。 |
| ジグソー活動において意見を共有する |
| 同一シートに入力することで、それぞれの意見が同期される OneNote を使用し、グループ内の意見を共有しました。グループでまとめた意見についても OneNote に入力し、クロストーク時に使用しました。 |

《引用文献》

- (5) 文部科学省 『高等学校学習指導要領解説 家庭編』 平成 22 年 5 月 p. 8